



代表理事組合長

工藤 巖

“農家所得の拡大へ” 地域農業振興を 最優先に

新年を迎えるにあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。組合員並びに日頃より当組合をご利用いただいております皆様には、輝かしい令和6年の幕開けを健やかに迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃より事業運営にわたりました、格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、これまで社会に大きな後遺症を残した、新型コロナウイルスも5月には5

今年こそ販売額21億円達成かと期待していた矢先の7月14日から豪雨、その後の連日の30度を超える高温と少雨により、青果物においては生育障害や病気の蔓延など大きな被害となっております。また、基幹作物でもあります稲作においても、農地への土砂の流入や冠水・浸水等の大規模な農業被害が発生した他、高温障害による乳白等の品質低下や収量にも大きく影響を及ぼす気象となりました。

この様な大変厳しい栽培環境の中でも、農家組合員各々の懸命なご努力と栽培管理により、多くの白神ブランドの農作物を出荷いただきましたことに、敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。当組合は出荷いただいた農作物を、目標とする「農家所得の拡大」に繋げるため、大消費地中心に多くの販売チャネルを駆使して販売してまいりました。中でも各関係機関のご協力を得ながら、白神ブランドの代表的作物であります「白神ねぎ」の、海外輸出を始めて2年目となりますが、輸出先

類に分類されたことにより、これまでの社会的制限も徐々にではありますが、コロナ前の環境に戻りつつあります。しかし、我々の心の中に払拭できない大きな後遺症を残したことも事実であります。また、ロシアによるウクライナ侵攻は未だに終息の見えない混沌とした状態が続いており、改めて戦争の難しさを思い知らされた年でもありました。

我が国経済は、多くの原材料や穀物等は国外に依存しているため、この侵攻により輸入物価や企業物価が国際商品市況の変動の影響を強く受け、食料・飼料・肥料原料・化石燃料や半導体原材料といった国民生活や経済活動に不可欠な物資の安定供給が滞り、物価高が我々の生活に直接影響を及ぼしております。

また、金融緩和による円安によりまして、輸入価格の高騰に拍車がかかり、我々農家にとりましても生産資材の高止まりが続いております、資材の価格上昇分を、販売価格に十分に反映できていない状況にあります。我々、生産現場に

とっては、価格転嫁も大きな課題となっております。

このような中であって振り返ってみますと、昨年3月には栗山英樹監督率いる侍ジャパンが、ワールドベースボールクラシックで世界一になった、あの歓喜も皆様の記憶には新しいところと思います。暗い話題続きで疲弊した日常生活に、大きな感動と勇気を与えてくれました。

また、地域に目を向けて見ますと、春先は好天に恵まれ雪消も早まり、春作業も10日から2週間程早まりました。4月は降霜害によりネギやキャベツなどの定植苗は生育停滞が見られましたが、5月は日中の気温が高く、6月は日照不足感がありましたが、全体的に生育も前進化し順調に推移しております、春キャベツにおいては6月いっぱい出荷が終了する程早まりました。

白神ねぎにおいても7月に入ると出荷が始まり、上旬から中旬にはこれまでにない日量出荷数量になるなど、生育が大幅に前進化しました。

謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



代表理事組合長

工藤 巖

理事

佐藤 謙悦

代表理事専務

工藤 寿博

理事

永塚 誠司

常務理事

伊藤 淑人

理事

佐藤 静子

理事

茂呂 誠

代表監事

塚本 幹夫

理事

佐々木 英樹

常勤監事

松嶋 須直

理事

石山 淳子

監事

桂田 浩樹

理事

戸松 博美

員外監事

石郷岡 章

理事

藤田 祐紀

あきた白神農業協同組合

理事

鷓木 恵子

職員一同

理事

大塚 忠之

本誌をもって、年始のご挨拶とさせていただきます。